

我が社における自主保安活動(優良販売業者編)



和田プロパン株式会社 代表取締役

和田 直樹

1 会社概要

和田プロパン株式会社（以下、「当社」という）は1950年高松市で食料品などを取り扱う和田商店として創業後、燃料事業を分離し1977年の組織変更を経て今日に至っている。

主にプロパンガス、灯油を扱う傍らで、ダスキンなどの生活関連商材の販売も行っている。

2 表彰履歴

1989年 香川県エルピーガス保安協会会長
表彰

1993年 香川県知事表彰

1996年 四国通商産業局長表彰

2018年 経済産業大臣表彰

3 保安に対する考え方

「取り扱いする商品が危険物であることを忘れることなく常に意識すること。」これができれば判断を誤ることもなく安全にお客様へサービスを提供できると考えている。

法令の遵守はもちろんのこと、それ以上に大切なのは仕事に取り組む心や姿勢であり、



写真1 和田プロパン(株)外観

「浅い川も深く渡れ」の精神を大切にしている。

4 保安活動

4年に1回以上の定期保安点検は自社で行っているが、定期点検以外でお客様宅を訪問するために保安点検と供給機器の期限管理を別にして訪問している。

これは、最新商品のセールス機会を創出して、より安全なガス器具への取替に注力するためである。Siセンサーこんろやオート機能の付いたガス器具をご利用いただき、消費者の安全、安心につないでいけるように心掛けている。

そして、現在IoTを利用した集中監視機器の取り付けを推進している。リアルタイム

でのお客様情報を活用し、当社から積極的にお客様へ注意喚起を呼びかけている。外出先で消し忘れが気になるお客様からの連絡も状況確認を社内で行えるうえ、ガスを止めることも即座にできるので、お客様から「安心」のお声を頂戴することもある。

今後も、より安全なガス器具とIoT機器の設置を行っていく。

5 今後の抱負

将来想定される人口減少と労働力の不足を解消するためにも、今後はさきに述べたIoT

機器の導入が不可欠なものとなると思われる、リアルタイムの保安情報の収集力は飛躍的に向上するであろう。しかし、軒先にお伺いする回数が著しく減少するのであれば、それは現在のガス設備の状況やこれから保安を確保するために起こりうる障害などの予測、想像といった今まで自分たちが培ってきた現場力を発揮する場を失うことになる。

「保安機械」の充実を図る一方で「保安機会」を維持していくことが重要になってくる。

最も頼りになるのは五感であることを忘れず、機器をうまく使いこなして今後もさらなる安全の確保に努めていきたい。

和田直樹（わだ なおき）

